

東亜合成グループのマテリアリティ

当社グループは、企業理念に基づき、経営として取り組むマテリアリティ(重要課題)を2025年中期経営計画の策定と並行して作成しました。

当社グループの持続的成長と社会への貢献の両面から「事業に関わるマテリアリティ」と「事業基盤に関わるマテリアリティ」に整理し、マテリアリティごとにKPIを設定しています。

マテリアリティの特定

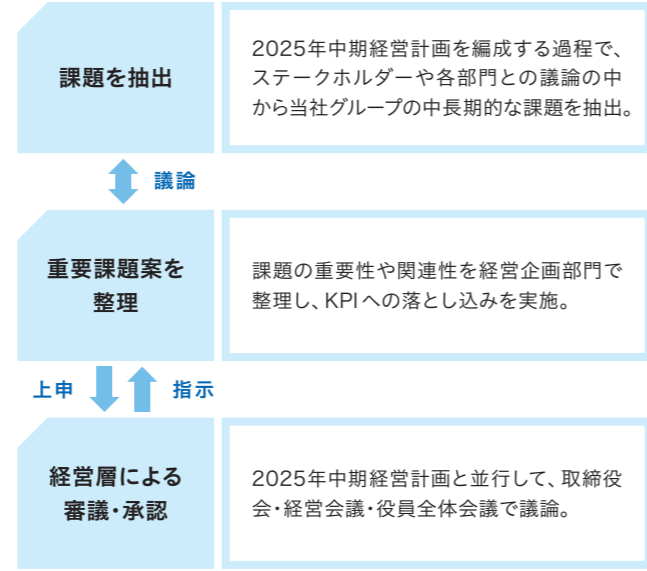
当社グループでは、2025年に向けた中期経営計画を策定しています。

本計画策定時に、従来の中期経営計画策定時に重きを置いていた財務面の重要経営評価指標である「KPI」に加えて、「事業面」あるいは「事業基盤」に関わるより重要な課題をマテリアリティとして捉え、以下6つのマテリアリティを特定しました。

- より存在感のある企業の実現
- 高付加価値製品の拡大
- 海外シェアの拡大
- 持続可能な社会の実現に貢献
- 多様な人財の活躍推進と育成
- 経営指標

これらのKPIおよびマテリアリティは、経営層によってその妥当性が検討された後に公開されました。

マテリアリティ特定までの流れ



● 事業に関わるマテリアリティ

評価指標	2023年実績	2025年計画
より存在感のある企業の実現		
売上高	1,593億円	1,830億円
営業利益 (売上高営業利益率)	124億円 (7.8%)	200億円 (11.0%)
EBITDA (金利、税金、減価償却前利益)	231億円	320億円
設備投資(検収ベース)	154億円	680億円 (2023~25年)
高付加価値製品の拡大		
高付加価値製品売上高比率	44%	48%
研究開発費	50億円	56億円
海外シェアの拡大		
海外売上高	266億円	405億円

● 事業基盤に関わるマテリアリティ

評価指標	2023年実績	2025年計画
持続可能な社会の実現に貢献		
GHG排出削減 (2013年比)	25.3%減	35%減
多様な人財の活躍推進と育成		
女性管理職比率	4.0%	5%
経営指標		
1株当たり純利益 (EPS)	102.78円	153円
総資産経常利益率 (ROA)	5.4%	8.2%
自己資本当期純利益率 (ROE)	5.8%	7.3%

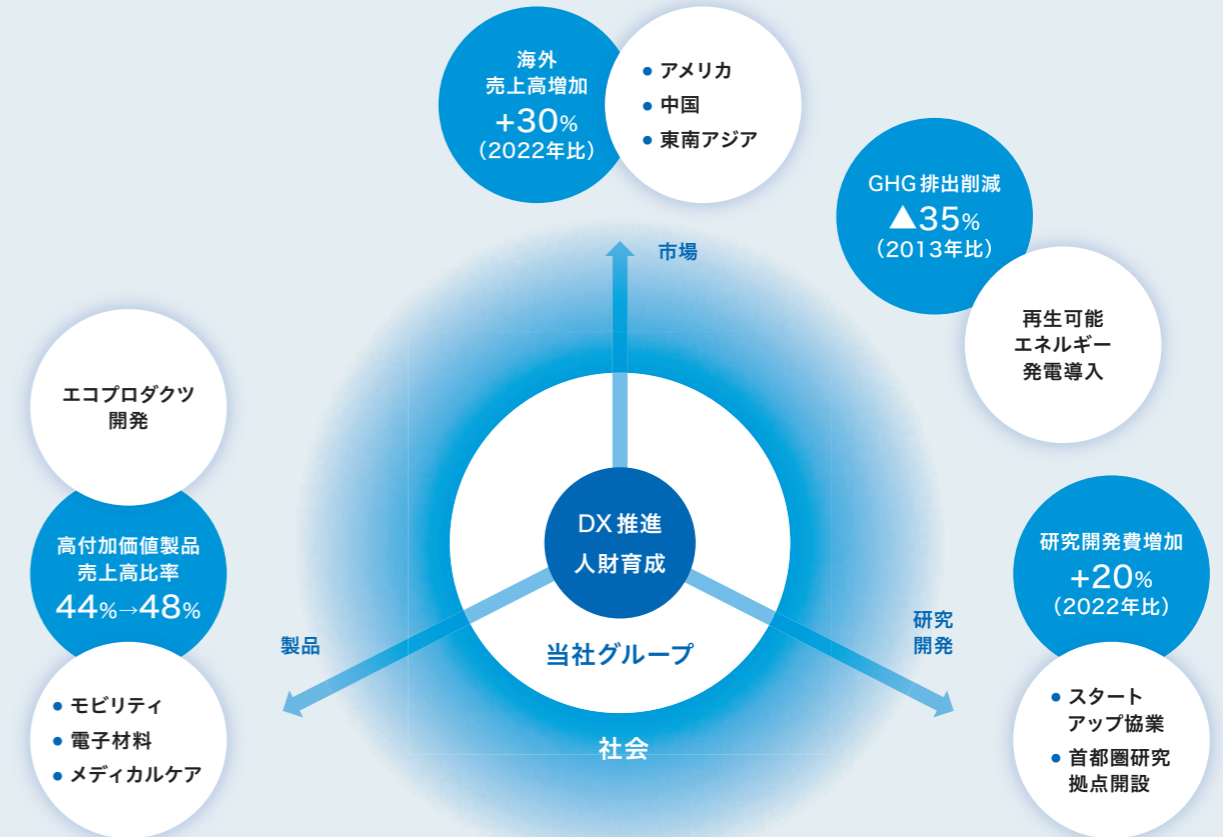
2025年中期経営計画

2025年中期経営計画(2023~2025年)の目指す姿

目指す姿

Leap Forward to the Next 2025

前中期経営計画で成果のあった高付加価値事業の拡大や新事業創出により当社グループの成長を加速します。2025年中期経営計画では、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進、人財育成を核とし、市場・製品・研究開発の軸で当社グループの領域を拡大し、成長を目指します。また、温室効果ガス削減、エコプロダクツ開発などを通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。



● 重要施策

- 1 伸ばす事業に経営資源を積極投入し国内外での展開を加速
- 2 研究開発力の強化
- 3 デジタルトランスフォーメーション(DX)推進を浸透・拡大
- 4 先見性をもった人財の確保と育成
- 5 サステナビリティ経営の推進

2025年中期経営計画

2025年中期経営計画の進捗状況

当社は、これまで中期経営計画で掲げた成長戦略の遂行を通じ、着実な発展を遂げてまいりました。

2023年度からスタートした中期経営計画「Leap Forward to the Next 2025」では、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進、人財育成を核とし、市場・製品・研究開発の軸で当社グループの領域を拡大し、さらなる成長を目指します。また、温室効果ガス削減、エコプロダクツ開発などを通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。

基本方針	新製品・新技術の開発力強化	海外売上高の拡大	持続可能な社会の実現に貢献
	新規開発拠点として川崎市に川崎フロンティアエンスR&Dセンターを設立し、中計注力分野であるモビリティ、電子材料、メディカルケア、環境関係の研究を加速させます。	中国(上海)およびベトナムに新たな拠点を設立し、高付加価値製品のシェア拡大を図るとともに、東南アジア市場での地位を確立します。	太陽光発電や小水力発電の導入に加えて、当社グループ内での温室効果ガス(GHG)排出削減を実施し、持続可能な社会の実現に貢献します。

海外売上高の拡大 中国(上海)、ベトナムに拠点を設立し拡販していきます。

東亜合成(上海)企業管理有限公司 開発センター
2023年12月業務開始

中国における既存事業や新規顧客開発強化、管理業務の集中など、中国での事業体制を拡充させていきます。

● **新規販売開発**

- 水溶性ポリマー … パップ剤・冷却シートの拡販
- LBバインダー … 早期実績化、正極・次世代電池を含めた開発
- 機能性接着剤 … 電池包材に向けた開発開始
- 高機能無機 … エアコン・繊維・封止材向け注力



Toagosei Vietnam Co., Ltd.
2024年5月設立

ベトナムの著しい経済成長、社会インフラ整備に伴って、現地の水質に合った排水処理薬品、技術サービスを提供します。他商材も含めた、東南アジアでの販売拠点としていきます。

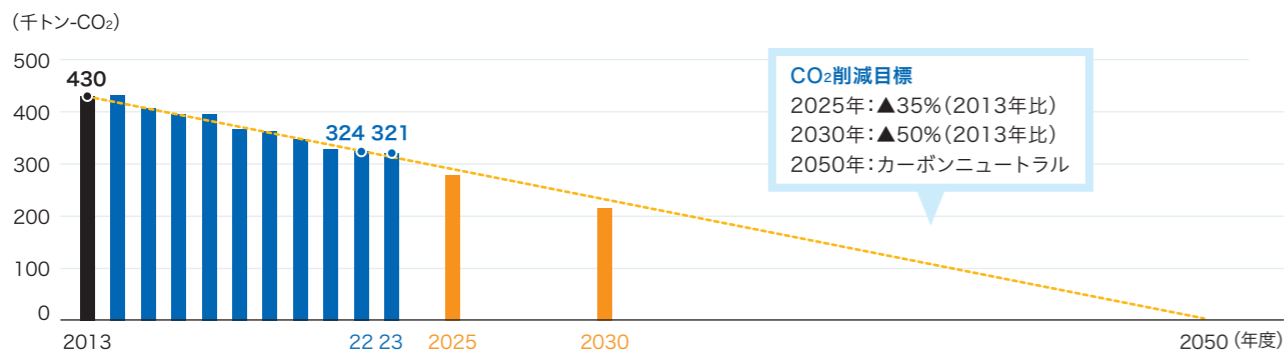
持続可能な社会の実現に貢献

将来世代にわたる豊かな社会の持続的な発展を目指し、環境対応を重視した事業活動に取り組んでいます。地球温暖化による気候変動問題に積極的に取り組み、将来世代にわたる豊かな社会を目指し、持続可能な発展に貢献していきます。

2025年目標達成に向けた取組み

- 名古屋工場、高岡工場および徳島工場へのメガソーラー導入。
- 長野県に当社第1号となる小水力発電所を建設。2026年完成予定。

東亜合成グループCO₂排出量

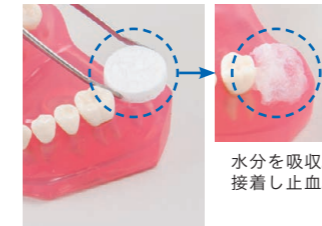


新製品・新技術の開発力強化(メディカルケア関連)

将来を担う新事業のメディカルケアで新製品を上市します。

▶ **アロンキュア デンタル**

医療用接着材料。抜歯後の止血。2024年夏頃に市場投入予定。歯科用を想定。



水分を吸収。接着し止血。

▶ **アロンアルファ スキンプロテクト**

皮膚用接着剤を2023年11月に販売開始。強力な保護力で瞬時に傷のケアが可能。

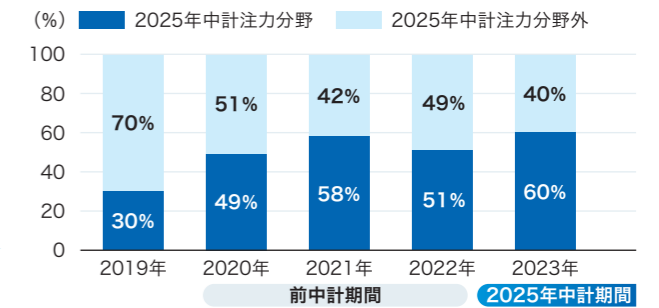


新製品・新技術の開発力強化(特許戦略)

モビリティ、電子材料およびメディカルケアを2025年中計注力分野として、研究開発力の強化に向けて積極的に経営資源を投入しています。今後も当社グループの将来を担う分野に注力していきます。

技術保護により、競争優位性を確保

2025年中計注力分野の出願割合



数値目標と今後の課題

売上高や営業利益などの数値目標については、2024年予想と2025年計画とのギャップがありますが、基本方針を着実に実施することにより、目標の達成を目指します。

	2023年実績	2024年予想	2025年計画
売上高	1,593億円	1,683億円	1,830億円
営業利益 [営業利益率]	124億円 [7.8%]	140億円 [8.3%]	200億円 [11.0%]
EBITDA (金利、税金、減価償却前利益)	231億円	250億円	320億円
高付加価値製品売上高比率	44%	44%	48%
設備投資額 (検収ベース)	154億円	299億円	680億円 (3年累計)
海外売上高 [海外売上高比率]	266億円 [16.7%]	296億円 [17.6%]	405億円 [22.1%]
EPS(1株当たり純利益)	102.78円	99.43円	153円
ROA(総資産経常利益率)	5.4%	5.6%	8.2%
ROE(自己資本当期純利益率)	5.8%	5.4%	7.3%
PBR(株価純資産倍率)	0.76倍	0.86倍*	—

※2024年4月30日時点

課題認識

中期経営計画の進捗状況を振り返り、取り組むべき課題を抽出し、成果、成長へつなげるための戦略選定を行っていきます。

- 製品供給体制の増強(半導体向け材料、リチウムイオン電池用バインダー、車載電池用接着剤など)。
- メディカルケア事業の研究開発により新製品を上市。
- バランスシートマネジメント(政策保有株式の売却、株主還元強化)。